

ふたかみ NEWS

プチトマト

古着市



3月20日(水・祝)
天候は良くありませんでしたが、たくさんの方が買いに来てくださいました。
お買い上げありがとうございます！
ごぞいます！



パネル展示

キッチンカー登場！



クレープ

クロッフル

お買い物後甘いもので皆さんいい顔！



自主製品も笑顔で販売！



まーち ひなまつり

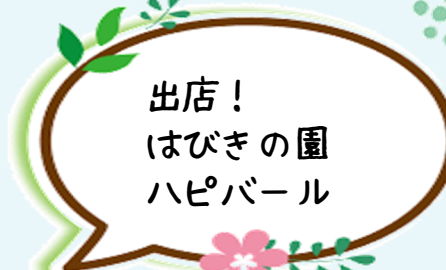
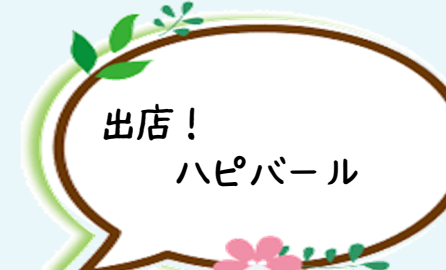
3月1日にゆったり班とまーち班合同でひな祭りの取り組みを行いました。金の折り紙を使って手作りの屏風を作り、手作りの烏帽子と冠を被って着物に着替えて写真撮影を行いました。
皆さん素敵な笑顔で写真を撮っていました。ひなあられはお土産に持って帰りました☆季節を感じることが出来る素敵な思い出を作りました♪
(波多江ひ)



日時:2024年4月7日(日) 10時～15時
場所:峰塚公園(羽曳野市軽里2丁目)※雨天中止



日時:2024年4月16日(日) 10時～16時
場所:Meet You (羽曳野市駒ヶ谷 161-9)※雨天決行



■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

2024年2月

- ・渡辺博子
- ・田中美希 浅尾大洋
- ・山中成子

■寄付 田中美希様 山中成子様 浅尾大洋様
■アルミ缶回収(2月分) 1016 kg

- ・ 以上5口
- ・ 以上3口
- ・ 以上1口

ありがとうございます。

◆2023年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました
皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。
【個人会費:1口3,000円 団体会費:1口10,000円】 郵便振替口座:00940-5-325894

2023
12月
2024
4月

ふたかみ
はたらく
えんじき
くらしき

きょうされん 第47次
国会請願署名・募金運動
全国キャンペーン

障害者権利条約と地域のすきみに
障害のある人びとを支える
制度づくりのための
署名・募金にご協力ください

cafeハピバール

4月の予定

定休日 毎週水曜/日曜
休み 13日(土)、27日(土)、29日(月)

★Instagram★
cafe-hapibar.com

お問い合わせ先
072-958-3232

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com

<https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二

編集責任者: 関口奈緒美



新年度（2024年度）に向けて

「復興・平和そして新たな取り組みに」

2024年は能登半島地震による大きな災害から始まりました。亡くなられた方が241名、避難所での生活が続いている方々が12000人余りと聞いています。お亡くなりになられた方のご冥福と一日でも早い日常生活の復興を祈っています。法人内でも災害復興募金をお願いを行いました。ご協力いただきありがとうございます。「きょうされん」や「社会福祉経営全国会議」を通じて渡していただきました。

さて、4月からは先日明らかになりました報酬改定の元、新年度がスタートします。先の見えない物価高騰と慢性的な職員不足の問題を抱えながらさらに厳しい法人運営となります。生活介護や放課後デイサービスでの営業時間から利用時間に合わせた評価への変更や就労継続支援での成功報酬の更なる強化などが図られます。厳しい問題点を抱えながらですが安定した法人運営に向けて歩みを止めることなく前進しなければなりません。

その為にも「きょうされん」や「社会福祉経営全国会議」等全国組織の他団体と協力し、また利用者の仲間、家族の方々、職員ともに力を合わせて根本的な基本報酬の増額や権利としての社会福祉の確立に取り組んで行きたいと思います。

新年度ははびきの園に5名、ハピバールに1名の新しい仲間が増えます。また新卒常勤職員として2名、非正規から常勤職員として2名の方が入っていました。新しい風、力として期待しています。

最後にコロナ禍はまだ終わりではなく、世界情勢もウクライナやパレスチナの問題、国内の防衛費（軍事費）の大幅な増加、どれも平和が脅かされています。平和であればこそ私たちの仲間ひとりひとりにしっかりと目を向けた取り組みができます。このことを大切に取り組みんでいきます。

理事長 八木昭二

ほまれっ子学習会 障がい福祉施設協議会第7回

『今のこと、これからのこと』

2月24日（土）に「子どもの自立と親の自立」をテーマとして、相談支援研究所代表の青木道忠先生にお越しいただき学習会を開催しました。

3年前に引き続き2回目の学習会に、学齢部のご家族、相談支援専門員、法人職員などの参加がありました。

参加者の自己紹介、参加の経緯などを報告し先生からそれぞれの悩みへのアドバイスがありました。ご家族からは将来についての漠然とした不安が多くあり、いずれ訪れる家族と離れての生活、ひいては親亡き後のことを心配されていました。

子どもの中に自らを信頼できる力があるか、それは周りから愛されている、受け止めてもらえている、共感してもらえる、などから自己効力感、自己肯定感となっていくとのことでした。そして大人から与えられる安心感が他者を信じる力、頼れる力、相談できる力となっていくとのことでした。

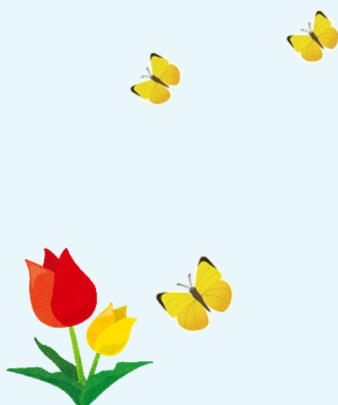
もう一つは本人が楽しめること、好きなことを見つけること



が大切だと言われました。それが生活経験の幅を広げ、生きる力となっていきます。

将来の生活の場としての入所施設やグループホームの量や質が低い現状の実態や老障介護、ロングシートの問題なども取り入れたお話しもいただきました。憲法25条（生存権）で保障されているとおり、障害のある人の「暮らしの場」がその人が希望する暮らしになることが大切だと言われました。

小人数ということもあり、参加者の皆さん同士の意見交流をしながらで共感したり新しい発見が得られた学習会になりました。（楠尾）



はざれん学習会 「愛の鞭と虐待」

羽曳野市作業所・施設連絡協議会主催で、2月19日に関西福祉科学大学の柿木志津江先生をお迎えして虐待防止研修が行われました。羽曳野市内の事業所から約30名の参加がありました。

まずは全社協「障害者の虐待防止に関する検討委員会」が出されているチェックリストに取り組みました。どこにチェックするのか重要なのではなく、普段の自分自身の振り返りをするのが重要と学びました。

柿木先生が紹介された、「全ての虐待は人と人との関係性によって決まる」という言葉が印象に残りました。親と子、支援者と被支援者などの関係性で「愛の鞭」となるのか、「虐待」となるのか決まります。家庭内、施設内という密室空間では、個々の立場に加え、面倒を見てもらっているという弱者と強者という強い権力関係や依存関係が固定してしまします。そして、密室空間ということで親の愛情や支援者の親切心という諸刃の剣の危険性を判断できる周囲の目

が入りづらいという問題点を学びました。

講義を受け、栃木県での虐待事例を基にグループワークを行いました。虐待を受けた利用者や虐待をしてしまった職員の気持ちや推測し、「なぜ虐待が起ってしまったのか」という点について意見を出し合いました。

その上で虐待を防止するために必要なこととして、私たち職員が「学ぶ」大切さ、職員間のコミュニケーション、第三者の方（ボランティアや実習生等）の目を入れる、一職員のせいにするのではなく職場全体の問題として捉える、職場の風通しの良さ（何でも言い合える関係性作り）等、意見が出されました。

私自身、虐待防止研修は今年度2回目の受講でした。定期的に自分自身の振り返りをするのが大切だと改めて学びました。今後も積極的に参加していきたいと思います。

（田邊と）

ワクを超えて

「なかま交流会に参加しました」

◇はびきの園
2月16日にきょうされん主催のなかま交流会があり、はびきの園の自治会のなかま3名が参加しました。今年は7事業所から合計50名以上のなかまが参加し、事業所紹介やOXゲームを楽しみました。

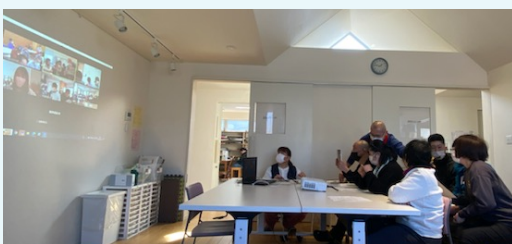
リモートでの開催ということもあり、なかま達も最初の内は緊張している様子でしたが、交流会が進むうちに、「こんな仕事があるんや」「うちもおんなじ仕事してる！」「声が出るようになり、OXクイズはみんなでワイワイ盛り上がりました！

最後の意見交流では、「次はカラオケ大会がしたいな」「ダンス大会も楽しそう！」と様々な声が出て、素敵な交流会になりました。

（波多江の）

◇ハピバール

今年もなかま交流会に参加しました。ハピバールを含め、5つの事業所が交流を行いました。



事業所紹介では、ハピバールの班長と副班長が「果物の皮むきをしています！」「陶芸でお皿を作っています」などお仕事を紹介してくれました。他の事業所のお仕事紹介では、たけのこを堀りそれらの下処理作業やおからや干し芋など商品を加工されるなど様々なお仕事がありましたね！

入浴のある施設では、なかまが入浴剤を選ぶ取り組みがあり、驚きました。

事業所紹介の後は、ジェスチャーゲームをして楽しめました。ハピバールは全問正解でしたー！（阪本）

◎×クイズ



記念品
第2 青い鳥コースター & はびきの園お菓子セット

